

三重縣公報

第七七十二號

昭和五年十二月二十六日

金 曜 日

告 示

●三重縣告示第九十五號
公有水面埋立ノ件左ノ通追認シタリ

昭和五年十二月二十六日

三重縣知事 市 村 慶 三

記

- 一、願人ノ住所氏名職業 桑名郡桑名町大字船馬町 醬油醸造業 佐藤信之助外八名
- 一、埋立ノ場所及面積 桑名郡桑名町大字桑名字船馬町地内 河川百十八坪四合七勺
- 一、埋立ノ目的 宅地
- 一、工事竣功期限 追認ノ日ヨリ昭和六年十二月三十一日迄
- 一、埋立追認ノ年月日 昭和五年十二月二十二日

●三重縣告示第九十六號

左記土地ノ公供用ヲ廢止ス

昭和五年十二月二十六日

三重縣知事 市 村 慶 三

記

河藝郡上野村大字上野字荒洲官第五二五番

一、堤 塘 一畝十五步

●三重縣告示第九十七號

農山漁村開發事業資金貸付規程並同準則左ノ通定ム

昭和五年十二月二十六日

三重縣知事 市 村 慶 三

農山漁村開發事業資金貸付規程

第一條 農山漁村開發事業施設ノ爲メ本規程ニヨリ豫算ノ範圍内ニ於テ資金ヲ貸付ス

第二條 本資金ハ町村ニ貸付スルモノトス

知事ニ於テ獎勵上特ニ必要ト認ムルトキハ第三條町村以外ノ各事業主體ニ對シ擔保ヲ徵シ直接貸付スルコトアルヘシ但シ法令ニヨリ設立シタル團體ニ對シテハ擔保ヲ徵セサルコトヲ得

第一項ニヨリ各資金ノ貸付ヲ受ケタル町村ハ別ニ定ムル準則ニ基キ第三條ノ各事業主體ニ轉貸スルコトヲ得

第三條 資金ヲ貸付スヘキ事業ノ種類、貸付金ノ限度及事業主體左ノ如シ

(一)耕地擴張改良事業

(イ)小開墾

一團地五町步未滿ノ小開墾及開墾助成法ノ助成ヲ受ケサルコトヲ條件トスル五町步以上ノ開墾一段步當百五十圓以内

(ロ)水害復舊

田畑ノ水害復舊一段步當二百圓以内

(ハ)小設備ノ改良新設

耕地ニ關スル道路、堤防、井堰、樋管、樋門等ノ小設備ノ改良新設一ヶ所當九百圓以内

(ニ)暗渠排水

暗渠排水事業一段步當四十圓

(ホ)小用排水改良事業

小用排水改良事業(主トシテ五百町步以下ノモノ)一反步當三十圓以内

以上耕地擴張改良事業ヲ爲ス事業主體ハ耕地整理法ニヨル組合其他ノ施行者町村、水利組合其他ノ非營利法人、十人以上連帶者個人トス

(二)山林開發事業

木炭倉庫ノ建設
木炭倉庫ノ建設一棟(建坪五十坪)千五百圓以内

以上山林開發事業ヲ爲ス事業主體ハ町村、森林組合、產業組合、重要物産同業組合十人以上連帶者トス

(三)蠶桑改良事業

荒廢桑園ノ改植 一反步當七十五圓以内

以上蠶桑改良事業ヲ爲ス事業主體ハ町村、產業組合、十人以上連帶者トス

(四)水産諸施設

(イ)船溜、船揚場ノ修築其他漁業共同施設

船溜、船揚場ノ修築、販賣、製造貯藏漁船、運搬船養殖、救難等ノ設備ノ新設建造(購入ヲ含マス)
以上水産諸施設ヲ爲ス事業主體ハ町村漁業組合水産會水産組合、產業組合、十人以上連帶者トス

(五)畜産諸施設

(イ)牧野整備

放牧地又ハ採草地ノ改良等牧野整備ノ施設

(ロ)畜産共同施設

牛乳、鶏卵、畜肉等ノ共同處理設備及家畜共同購入又ハ飼料調製貯藏設備其ノ他ノ畜産ニ關スル共同利益増進ノ爲ニナス諸種ノ施設

以上畜産諸施設ヲ爲ス事業主體ハ町村、畜産組合產業組合十人以上連帶者トス

(六)副業及農業共同施設

(イ)輸出向副業施設

竹細工品、手工藝品、貝細工、寒天、椎茸栽培、養兔等ノ副業經營上必要ナル作業場、採種場養殖場貯藏場販賣場等ノ共同設備及器具機械材料種苗等ノ購入資金

(ロ)内地向副業施設

菓子品製造、醬製品製造、菅製品製造、木工品、羊齒細工製造、和紙製造、漬物製造、乾燥野菜製造、干瓢製造、凍豆腐製造、麵類澱粉製造、罐詰瓶詰製造、蔬菜(促成)栽培、果樹栽培、花卉栽培、藥草栽培、山葵栽培、海苔増殖製造、石芥菜増殖、養蛙等ノ副業經營上必要ナル作業場、採種場、養殖場、貯藏場、販賣場等ノ共同設備及器具機械材料種苗等ノ購入資金

(ハ)農業共同施設

蔬菜、果實、穀類、豆類、茶等ノ農産物ニ付其ノ撰別乾燥調製荷造貯藏並加工等ノ共同處理又ハ共同作業ニ要スル諸施設一ヶ所三千圓以内

以上副業及農業共同施設ヲ爲ス事業主體ハ町村、產業組合漁業組合、農會、水産會山林會其ノ他非營利法人十人以上連帶者トス

第四條 貸付金ノ利率ハ年四分二厘トス

町村ニ於テ前條ニヨリ轉貸ヲ爲ス場合モ前項ノ利率ニヨル
第五條 本資金ノ貸付期間左ノ如シ

一、耕地擴張改良事業資金

イ、小開墾

二十九ヶ年賦(一ヶ年半ノ据置期間ヲ含ム)

ロ、水害復舊

二十ヶ年賦(同上)

ハ、小設備ノ改良新設

十八ヶ年賦(同上)

ホ、小用排水改良事業

二、山林開發事業

木炭倉庫ノ建設

十三ヶ年賦(三ヶ年ノ据置期間ヲ含ム)

三、蠶桑改良事業資金

七ヶ年賦(二ヶ年ノ据置期間ヲ含ム)

四、水産諸施設資金

十二ヶ年賦(二ヶ年ノ据置期間ヲ含ム)

五、畜産諸施設資金

イ、牧野整備

十一ヶ年賦(二ヶ年ノ据置期間ヲ含ム)

ロ、畜産共同施設

七ヶ年賦(二ヶ年ノ据置期間ヲ含ム)

ハ、家畜共同購入資金

五ヶ年賦(二ヶ年ノ据置期間ヲ含ム)

六、副業及農業共同施設資金

イ、輸出向副業施設

共同設備及機械器具購入十二ヶ年賦(二ヶ年ノ据置期間ヲ含ム)

ロ、内地向副業施設

其ノ他 七ヶ年賦(二ヶ年ノ据置期間ヲ含ム)

ハ、農業共同施設

十二ヶ年賦(二ヶ年ノ据置期間ヲ含ム)

前項ノ据置及償還期間ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ起算ス

第六條 本資金ノ償還方法ハ均等償還トシ据置期間中ハ利子ヲ其後ハ元利ヲ毎年九月一日、三月一日ノ二回ニ償還スヘシ但シ借受者ノ都合ニヨリ期間前ト雖其一部又ハ全部ノ償還ヲ爲スコトヲ得

前項ノ償還又ハ第十一條ニヨル償還ヲ怠リタルトキハ償還元金百圓ニ付一日四錢ノ延滞利息ヲ徴收スルモノトス

第七條 本資金ノ貸付ハ昭和六年七月末日ヲ以テ之ヲ打切ルモノトス

第八條 本資金ノ貸付ヲ受ケントスルモノハ左ノ書類ヲ知事ニ提出スヘシ

一、第一號様式ニ依ル借入申請書

二、事業計劃書

三、町村ヨリ轉貸スヘキモノニアリテハ轉貸ヲ受クル者ノ事業計劃書並轉貸ニ關スル規程

第九條 前條ノ申請アリタルトキハ知事ハ調査ノ上資金貸付ノ指令ヲ交付ス

前項ニヨリ貸付ノ指令ヲ受ケタルモノニシテ借入金額又ハ前條第二號第三號ノ變更ヲ爲サントスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 本資金ノ貸付指令ヲ受ケタルモノハ第二號様式ニ依ル借用證書並起債決議書又ハ之ニ準スヘキ決議書ヲ差出シ資金ノ貸付ヲ受クヘシ

第十一條 第二條ニヨリ轉貸スヘキ本資金ノ貸付ヲ受ケタルトキハ一ヶ月以内ニ轉貸ヲ完了シ第三號様式ニヨル轉貸完了報告ヲ知事ニ提出スヘシ

前項ノ期間内ニ轉貸ヲ完了スルコト能ハサル場合ハ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條 町村ニ於テ本資金ノ轉貸ヲ爲シタル時ハ其ノ貸付先、金額、用途、償還期限ヲ一口毎ニ區分シテ每

月之ヲ取纏メ農林大藏兩省ニ報告スヘシ

第十三條 第八條ニヨリ貸付ノ指令ヲ受ケタルモノ及資金ノ貸付ヲ受ケタルモノニシテ左ノ各號ノ一ニ該當

スルトキハ知事ハ其ノ貸付ヲ取消シ又ハ貸付期間内ト雖元利金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命スルコトアルヘシ

一、本規程ニ違反シタルトキ

二、資金貸付ノ條件ニ違反シタルトキ

三、資金ノ貸付ヲ受ケタル事業ヲ中止シタルトキ

第十四條 本資金ノ貸付ヲ受ケタル事業ノ着手完了其他必要ト認ムル事項ニ付條件ヲ附スルコトアルヘシ

第十五條 本資金ニ對シ國庫ヨリ利子補給アリタル場合ハ別ニ定ムル所ニ依リ本資金借受主體ニ對シ交付スルモノトス

附 則

第十六條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(第一號様式)

農山 開發事業資金借入申請書

一、金 額 圓

何事業資金内轉貸スヘキ金額使途明細別紙ノ通

二、償還方法

右事業資金御貸付相成度關係書類相添此段及申請候也

年 月 日

轉貸者住所	同氏名	轉貸金額	擔保物件種類見積價額	轉貸年月日
合 計				

年 月 日

知 事 宛

町 村 長 氏 名

備考 各事業資金別トナスヲ要ス

何町村産業開發事業資金貸付規程準則

- 第一條 産業開發事業施設ノ爲豫算ノ範圍内ニ於テ資金ヲ貸付ス
- 第二條 貸付スヘキ事業ノ種類、借受主體、貸付期間、方法並利率其他本規程ニ定メナル事項ハ三重縣農山漁村開發事業資金貸付規程ノ定ムル所ニ依ル
- 第三條 資金ノ貸付ニ付テハ貸付金額ニ相當以上ノ價格ヲ有スル擔保ヲ徵スルモノトス
前項擔保物件ノ種類ハ不動産、國債證券、地方債證券、勸業債券、農工債券、拓殖債券、興業債券及之レ等ノ株券トシ之レカ評價格ハ町村長ノ定ムル所ニ依ル
- 第四條 資金ノ貸付ヲ受ケムトスル者ハ左ノ書類ヲ町村長ニ提出スヘシ
前項不動産ニ付テハ抵當權設定登記ヲ爲スモノトス

一、第一號様式ニ依ル借入申込書

二、事業計劃書

三、擔保物件調書

第五條 貸付ノ決定通知ヲ受ケタル借入申込者ハ第二號様式ニ依ル借用證書ヲ差出シ資金ノ貸付ヲ受クヘシ

第六條 借受人ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ町村長ハ其ノ貸付ヲ取消シ又ハ貸付期間内ト雖元利金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命シ其他資金ノ貸付ヲ停止スルコトアルヘシ

一、資金貸付ノ條件ニ違反シタルトキ

二、資金貸付ノ事業ニ着手セス又ハ其ノ事業ヲ中止シタルトキ

第七條 本資金ノ貸付ニ關シ町村長ニ於テ必要ト認ムルトキハ特ニ條件ヲ附スルコトアルヘシ

第八條 借受人ニシテ事業ニ着手シ又ハ完了シタルトキハ遲滯ナク町村長ニ届出ヘシ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(第一號様式)

産業開發資金借入申込書

一、金額 金 圓

但何事業資金

二、償還方法

三、擔保物件

右産業開發事業資金御貸付相成度關係書類相添此段及申請候也

町村長宛
添付書類 事業計劃書

(第二號様式)

産業開發事業資金借用證

一、金 圓也 何事業資金

前記ノ金額ヲ左ノ事項ニ從ヒ借受クヘキ契約ニテ本日正ニ受領致シ候ニ付テハ債務ノ擔保トシテ別紙表示ノ物件ヲ提供シ相違ナク辨濟ノ義務履行可致候仍テ爲後日借用證書差上置候也

記

一、借入金ハ昭和 年 月 日ヨリ昭和 年 月 日ヨリ昭和 年 月 日迄ニ元利金ヲ半年賦償還トス

二、本債務ノ利息ハ年 分 厘トシ据置期間中ノ利息並ニ元利半年賦金ハ別紙償還年次表ニヨリ毎年度九月壹日、參月壹日ノ貳回ニ之ヲ辨濟スルモノトス

三、借入金ヲ期間前償還セムトスルトキハ償還當日迄ノ利息ヲ日割計算ニ依リ支拂フモノトス

四、元利金ノ辨濟期日又ハ期限前償還ヲ命セラレタル指定期日ニ元利金ノ辨濟ヲ爲ササルトキハ其ノ期日ノ翌日ヨリ辨濟當日迄ニ償還スヘキ元金百圓ニ付壹日四錢ノ割合ニ當ル延滞利息ヲ支拂フモノトス

五、其他町村産業開發事業資金貸付規程所定事項ヲ遵守スルモノトス

昭 和 年 月 日

債務者

借受人

●三重縣告示第九十八號
鰻刺目網漁業左ノ通許可セリ

昭和五年十二月二十六日

三重縣知事 市 村 慶 三

許可番號

許 可 年 月 日

漁業者住所 氏名

漁業ノ場所 漁獲物ノ種類

漁業時期

許可期間

條件

六七二

昭和五年十二月二十一日

三重郡富洲原町 大字富田一色 鈴木 駒次郎

伊勢灣但シ距岸一里以内ノ海面ヲ除ク

鰻

自十二月十一日至一月三十一日

自昭和五年十二月二十一日至昭和六年一月三十一日

免許ヲ得タル漁業ヲ妨クヘカラス

六七二

昭和五年十二月二十一日

三重郡富洲原町 大字富田一色 鈴木 浦太郎

伊勢灣但シ距岸一里以内ノ海面ヲ除ク

鰻

自十二月十一日至一月三十一日

自昭和五年十二月二十一日至昭和六年一月三十一日

同

●三重縣告示第九十九號
一定ノ水面ニ敷設セサル壺網漁業左ノ通許可セリ

昭和五年十二月二十六日

三重縣知事 市 村 慶 三

許可番號

許 可 年 月 日

漁業者ノ住所 氏名

漁業ノ場所 漁獲物ノ種類

漁業時期

許可期間

條件

八〇

昭和五年十二月二十三日

志摩郡志島村 廣 新兵衛

志摩郡志島村 漁業組合享有ノ専用漁場内

自十二月二十三日

自昭和五年十二月二十三日

免許ヲ得タル漁業ヲ妨クヘカラス

●三重縣告示第千百號

昭和五年十二月二十三日付ヲ以テ木炭検査證箋賣捌人ヲ左ノ通變更セリ

昭和五年十二月二十六日

三重縣知事

市 村 慶 三

指 定 一志郡多氣村
廢 止 同 村

鈴 木 一 正
中 野 宗 兵 衛

●三重縣告示第千一百一號

昭和五年十二月二十四日附林第二四四號ヲ以テ左記竹林組合ノ設置ヲ認可セリ

昭和五年十二月二十六日

三重縣知事

市 村 慶 三

記

- 一、名 稱 藏持村竹林組合
- 二、地 區 名賀郡藏持村大字藏持同大屋戸同夏秋同下三谷一圃
- 三、事務所所在地 名賀郡藏持村大字藏持甲三百九十六番地
- 四、目 的 竹林ノ増殖及改良發達ヲ圖リ其ノ利益増進
- 五、面 積 苦竹林三町七反九畝二十七步、淡竹林二反三畝十二步
- 六、組合 員數 九十一人

●三重縣告示第千一百二號

昭和五年十二月二十四日附林第七六三號ヲ以テ左記竹林組合ノ設置ヲ認可セリ

昭和五年十二月二十六日

三重縣知事

市 村 慶 三

記

- 一、名 稱 霧生上出竹林組合
- 二、地 區 名賀郡矢持村大字霧生字村瀬同冷ヶ窪同樋ノ口同尖嶽同宮本同峯垣内同中西一圃
- 三、事務所所在地 名賀郡矢持村大字霧生十八番屋敷
- 四、目 的 竹林ノ増殖及改良發達ヲ圖リ其ノ利益増進
- 五、面 積 苦竹林十六町八反步、孟宗林六町七反十一歩、淡竹林六反六畝步
- 六、組合 員數 二十九人

●三重縣告示第千一百三號

昭和五年十二月二十四日附林第七二五號ヲ以テ左記竹林組合ノ設置ヲ認可セリ

昭和五年十二月二十六日

三重縣知事

市 村 慶 三

記

- 一、名 稱 短野竹林組合
- 二、地 區 名賀郡藏持村大字短野一圃
- 三、事務所所在地 名賀郡藏持村大字短野二百四十六番地
- 四、目 的 竹林ノ増殖及改良發達ヲ圖リ其ノ利益増進
- 五、面 積 苦竹林一町七反十八歩、淡竹林四畝步
- 六、組合 員數 十九人

●三重縣告示第千一百四號

左記ノ者ニ對シ昭和五年十二月二十日付頭書ノ免許狀ヲ授與セリ
昭和五年十二月二十六日

三重縣知事 市村慶三

小學校本科正教員

三重縣

森本寅勇

同

同

野崎伊之助

同

同

村田林藏

同

同

草川房事

同

同

中谷豐房

同

同

服部豐

同

同

田川伊右衛門

同

同

玉田民藏

●三重縣告示第千五百五號
健康保險醫中左記ノ通辭任アリタリ

昭和五年十二月二十六日

三重縣知事 市村慶三

記

氏名

診療所所在地

辭任年月日

辭任事由

鈴木源一郎

河藝郡白子町大字寺家

昭和五年十二月二十日

病氣

●三重縣告示第千六百六號

健康保險齒科醫中左記ノ通指定ヲ取消ス

昭和五年十二月二十六日

三重縣知事 市村慶三

記

氏名

診療所所在地

杉岡守

阿山郡島ヶ原村五九〇七東拾松方

廳中事項

●敍任辭令

昭和五年十一月三十日

水谷 まさる

任三重縣津市恭和尋常高等小學校訓導

但專科勤務

六級下俸ヲ給ス

奥山 みつる

任三重縣志摩郡鳥羽尋常高等小學校訓導

但本科勤務

九級上俸ヲ給ス

昭和五年十二月九日

三重縣立四日市商業學校教諭

吉田 瀧造

二級俸ヲ給ス但當分ノ内金百參拾五圓給與

昭和五年十二月十日

三重縣多氣郡相可尋常高等小學校訓導

我 洋 茂

本科勤務ヲ命ス

昭和五年十二月十五日

稻葉 とあ

任三重縣一志郡竹原尋常高等小學校訓導

但尋常科本科勤務

九級下俸ヲ給ス但當分ノ内金參拾圓給與

石橋 鶴雄

任三重縣一志郡奥津尋常高等小學校訓導

但本科勤務

八級下俸ヲ給ス

●教員轉任

三重縣師範學校訓導染川清一郎ハ昭和五年十一月三十日宮崎縣師範學校教諭ニ轉任セリ

●正誤

本月十二日公報三頁下欄野村市郎ノ肩書志摩郡鳥羽尋常高等小學校訓導ハ度會郡ニ見尋常高等小學校訓導ノ誤リ

通牒照會

●地第二、七七一號

昭和五年十二月二十六日

內務部長

支廳長殿

各市町村長殿

融通濟預金部地方資金利率引下ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ大藏省預金部ヨリ直接關係ノ向ヘ通達濟ノ趣ニ候得共左記事項注意方其ノ筋ヨリ通牒有之候ニ付御了知相成度此段及通牒候也

追テ本件利率引下ケニ依リ償還年次表ノ更正議決ヲ要スル義ニ付御注意相成度候

記

一、利下ノ範圍

(イ)昭和五年九月三十日以前ニ於テ融通シタル地方資金ノ内預金部融通利率四分八厘ヲ超ユル資金ニ付左ノ通利下ヲ行フコト

資金ノ種別

預金部融通利率
現在利率 改正利率

一、内地地方資金

五分〇

四分八

内地普通低利資金

同

同

都市計畫事業資金

同

同

高利債借換資金

同

同

震災地復舊並復興資金

五分〇

同

内地普通低利資金	五、五	同
高利債借換資金	同	同
高利債借換資金	六、〇	四、八
震災地復舊並復興資金	五、五	同
同	六、五	同
二、復興貯蓄債券收入資金	六、〇	五、六
震災地復舊並復興資金	六、五	同
同	六、五	同
(ロ)右ノ結果轉貸資金及銀行ヲ經由シテ借受ケタル資金ニ付テモ夫々同率ノ利下ヲ行フコト但シ銀行經由ノモノニシテ本年十二月末日迄ニ償還期限ノ到來スルモノニアリテハ利下セス		
二、利下ノ時期		
昭和五年十二月二日		
三、利下ノ實行方法		
(イ)預金部ニ於テ直接地方債ヲ引受ケタル分ニ付テハ新債券ヲ發行シテ舊債券ト引換フコト但シ現金ノ授受ヲ爲サ、ルヲ以テ之ニ對スル豫算ノ議決ヲ要セス		
(ロ)銀行經由ノ分ニ付テハ當該銀行ト預金部トノ間ニ於テハ前項ト同様ノ方法ニ依リ借受團體ト銀行トノ間ニ於テハ利下ニ依リ生シタル毎年度ノ元利償還額ノ差減額ニ付債權免除等ノ方法ニ依ルコト		
(ハ)轉貸資金ニ付テハ前項後段ニ準スルコト		
四、債券借換ニ要スル費用ノ負擔		
(イ)預金部直接引受ノ地方債ノ發行ヲ要スル費用ハ當該團體ノ負擔トス		

(ロ)銀行ノ債券發行ニ要スル費用ハ左ノ區分ニ依リ負擔スルコト	
A 昭和七年十二月末日迄ニ償還期限到來ノ債券ニ付テハ銀行ノ負擔トス	
B 昭和八年一月一日以降ノ分ニ付テハ借受團體ノ負擔トス	

●林第一、二〇七號

昭和五年十二月二十六日

內務部 長

支廳長殿
各町村長殿

農山漁村開發事業資金貸付ニ關スル件

農山漁村開發事業資金中山林開發事業資金ニ對シテハ本年九月十九日付農第四、四五九號ニヨリ借入希望額申出有之候處起債ノ都合上林產物ノ運搬施設並貯木場ノ建設ニ對スル貸付ハ不可能ト相成木炭倉庫ノ建築ニ對シテノミ貸付致スコトニ決定相成候ニ就テハ曩ノ申出ノ有無ニ不拘左記要項ニ依リ更ニ借入申請書ヲ來ル一月二十五日迄ニ提出候様御取計相成度尙本資金ノ貸付ハ明年三月以降ノ豫定ニ有之候條右御了知相成度此段及照會候也
追テ二月二十五日迄ニ申請無之トキハ借入希望ナキモノトシテ處理可相成候ニ付爲念申添候

一、借受主體

本資金ハ町村ニ貸付スルモノトス
但シ知事ニ於テ獎勵上特ニ必要ト認ムルトキハ同業組合、森林組合、產業組合又ハ十人以上ノ連帶者ニ對シ擔保ヲ徵シ直接貸付スルコトアルヘシ法令ニヨリ設立シタル團體ニ對シテハ擔保ヲ徵セサルコトヲ得
町村ハ縣ノ定メタル準則ニ基キ各事業主體ニ轉貸スルコトヲ得

二、事業ノ種類及貸付金ノ限度

木炭倉庫ノ建築一棟(建坪五〇坪ニ對シ)千五百圓以內
右事業ハ昭和六年十二月末迄ニ竣工スルコトヲ要ス

三、貸付期間及償還方法

十三ヶ年賦(三ヶ年ノ据置期間ヲ含ム)但シ貸付期日ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ起算シ毎年三月一日及九月一日ノ二回ニ元利(据置期間中ハ利子ノミ)ヲ償還スルモノトス

四、利率
年三分五厘トス
町村ニ於テ轉貸スル場合ニ於テモ前項ノ利率ニヨルモノトス

五、借入申請書
本資金ノ借入申請書ハ別記様式ニ依リ事業計畫書、資金使途明細書ト共ニ借受主體別ニ昭和六年二月二十五日迄ニ町村ハ知事ニ其ノ他ハ町村長ヲ經由知事ニ提出スヘシ
縣ハ右申込ニヨリ貸付額ヲ内牒スヘキニヨリ該通知ヲ受ケタルトキハ借用證書並起債決議書又ハ之ニ準スヘキ決議書ヲ提出スヘシ

六、其ノ他
イ、本資金ハ林業共同施設補助規則ニ依リ補助ヲ受ケムトスル木炭倉庫又ハ舊債償還等木炭倉庫ノ建築費以外ニ充用スルモノニハ貸付セサルモノトス
ロ、借受人ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ貸付期間内ト雖元利金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命スルコトアルヘシ

一、縣ノ定メタル貸付規程ニ違反シタルトキ
二、資金貸付ノ條件ニ違反シタルトキ
三、資金ノ貸付ヲ受ケタル事業ヲ中止シタルトキ

(様式)
農山漁村開發事業資金借入申請書

一金額 金 圓
木炭倉庫建築事業資金ニ轉貸(借受)スヘキ金額、使途明細書、事業計畫書別紙ノ通
一、償還方法
昭和八年三月三十一日迄据置 自昭和八年四月一日 十ヶ年間ニ均等償還ス
至同十七年三月三十一日迄据置 右事業資金御貸付相成度關係書類相添此段及申請候也

年 月 日
町村長 (同業組合 森林組合) 氏 名 印
十人以上連帶者

備考
一、事業主體ヲ異ニスル場合ハ各主體毎ニ別紙ニ認ムルコト
木炭倉庫建築事業資金使途明細書

借受又ハ轉貸セムトスル者ノ住所氏名	借受又ハ轉貸豫定金額	擔保物件ノ種類見積價額	備考

備考
一、町村ヨリ轉貸セムトスル場合ハ「借受又ハ轉貸セムトスル者ノ住所氏名」欄ニ連帶者ノ組毎ニ何某外何名ト記載スルコト
二、十人以上連帶者ニ於テ直接縣ヨリ借受ケムトスル場合ハ各人別ニ住所氏名金額擔保物件ヲ記載スルコト

事業計畫書

- 一、町村内木炭生産狀況
生産者數 貫名
- 二、資金借入者ノ建築スル木炭倉庫

借受又ハ轉貸ヲ受ケムトスル者	建築箇所	棟數	建坪	經費	木炭收容量	工事着手並竣工豫定月日
住 氏 名						着手竣工
所 氏 名						着手竣工
						着手竣工
						着手竣工
						着手竣工
						着手竣工
						着手竣工
						着手竣工
						着手竣工
						着手竣工

備考
町村ヨリ轉貸セムトスル場合ハ使途明細書記載ノ組毎ニ行ヲ分チ記載スルコト

●農第五、五七五號
昭和五年十二月二十六日

内務部長

支廳長殿
各市町村長殿

茶業調査ニ關スル件

茶業獎勵上ノ參考トシテ昭和五年中ノ季節別茶製茶産額並製茶用機械、原動機、蒸汽發生器等ノ種類別員數及機械製茶戸數承知致度候條左記様式ニ依リ御調査ノ上來ル昭和六年一月二十日迄ニ御回報相成度此段及照會候也

追テ員辨、三重、鈴鹿、一志、飯前、多氣、度會ノ各郡町村ハ其郡駐在茶業擔任技手ヲ經由相成度申添候記

一、茶生葉收穫高

季節	節名	數	量	價	額
一	番茶				
二	番茶				
三	番茶				
計					

二、種類別製茶産額

種類別	數量			價			額計
	一番茶	二番茶	三番茶	一番茶	二番茶	三番茶	
玉露							
煎茶							
紅茶							
番茶							
其他							
計							

調査上ノ注意

一、玉露ハ覆下又ハ藁冠ヲナシタル茶園ヨリ生産シタル茶芽ヲ製造シタルモノ(川柳、飛出、粉茶等ノ屑物ヲ含ム)

一、煎茶ハ普通茶園ヨリ生産シタル茶芽ヲ製造シタルモノ (前同様屑物ヲ含ム)

一、紅茶ハ茶芽ニ蒸熱ヲ加ヘズシテ製造シタルモノ (同前)

一、番茶ハ古葉、木莖(刈落等)ヲ用ヒテ製造シタルモノ

一、其他トハ烏龍茶、礪茶等

三、製茶機械種類別臺數 (十二月一日現在)

式名	種類別	蒸機	粗揉機	揉捻機	再乾機	精揉機	其他	計

何々式	何々式	何々式	計	調査上ノ注意						
				一、蒸機ハ送帶式(簾蒸機)廻轉式(胴廻轉、軸廻轉)等蒸機ニ付調査シ手蒸ノ場合使用スル篩蒸器ノ如キハ之ヲ除クコト	一、橋本式葉打粗揉機ノ如キモノニシテ再乾ニ専用スルモノハ再乾機トシテ調査スルコト	一、其他ハ乾燥機、精撰用各機械及各欄ニ該當セザルモノニ付調査スルコト	一、式名ナキモノニ付テハ考案者又ハ製作者名ヲ記載スルコト	四、製茶用原動機種類別臺數 (十二月一日現在)	馬力	種類別
				電動機	石油發動機	瓦斯發動機	蒸汽機關	水力機	其他	計

五、茶葉蒸用汽罐箇數 (十二月一日現在)

種類	類	箇數	製作者名又ハ販賣者名
横置型			
直立型			
計			
調査上ノ注意			
茶蒸用蒸汽發生器トシテ汽罐ヲ使用スルモノニ付調査シ鶴鷄釜ヲ用ユルモノハ之ヲ除クコト			
六、機械製茶戸數			
區	別	戸	數
下揉ミ機械ヲ使用シ手揉仕上ゲヲ行フモノ			
全部機械ニ依リ製茶ヲナスモノ			
計			

●水第一、三五四號

昭和五年十二月二十六日

内務部長

支廳長殿

沿海各市町村殿(支廳管内ヲ除ク)

名賀郡名張町長殿

第七回全國漁業組合大會開催ノ件

東京府主催ヲ以テ左記要項ニ依リ第七回全國漁業組合大會開催致候ニ付テハ部内當業者多數出席有之様御取計相成度此段及照會候也

追テ出席者ノ氏名御取纏メノ上來ル一月二十日迄ニ御回報相成度申添候

記

- 一 會期 昭和六年 自一月二十六日至一月二十七日
- 一 會場 東京府廳内商工獎勵館
- 一月二十六日午前九時 第七回全國漁業組合大會
- 一月二十七日午後一時 同

●教第三、六三三號

昭和五年十二月二十六日

學 務 部 長

各小學校長殿

體育講習會開催ニ關スル件

今般體育研究所ニ於テ左記要項ニ依リ標記講習會開催相成ルヘク候ニ付テハ受講希望者ハ來ル一月八日迄ニ到着ノ日取ヲ以テ回報相成度此段及通牒候也
追而右期日迄ニ回報無之場合ニ於テハ希望無キモノトシテ處理可仕候

記

體育講習會要項

一、期 間 昭和六年一月二十一日(水)ヨリ同二十八日(水)迄八日間

一、場 所 體育研究所 東京府下代々木西原(京王電車幡ヶ谷驛又ハ小田急代々幡上原驛)

一、受講資格 小學校長

一、定 員 百 名

一、講習科目及講師 (十四時間)

- | | | | | |
|---|---------|-----|-----|-----------|
| 1 | 體 育 概 論 | 一時間 | 所 長 | 北 豐 吉 |
| 2 | 解 剖 學 | 二時間 | 技 手 | 秋 田 善 雄 |
| 3 | 生 理 學 | 三時間 | 技 師 | 小 笠 原 道 生 |

